

輸送間乗換地等ニ於テハ爲シ得ル限り馬匹ノ運動ヲ勵行スヘキモノトス又輸送者シク長時日ニ亙ル場合ニ於テハ情況之ヲ許セハ上述ノ目的ノ爲特ニ途中停車場ニ於テ馬匹ヲ卸下スルヲ可トスルコトアリ

列車運行中ハ一般鐵道ノ規則ヲ守リ濫ニ其位置ヲ離レ又車輛ノ戸口或ハ側板上ニ踞スルヲ禁ス其他蒭秣及彈藥等火災ノ虞アル物品又ハ馬匹ヲ載セタル車中ニ於テ喫煙シ或ハ擅ニ點火スヘカラス又馬積貨車内ノ燈火ニ注意スヘシ

非常ノ危害(車軸ノ折損、火災、列車ノ分離、脱線等)ニ際シテハ先ツ之ヲ發見シタル者ハ何人ヲ論セス鐵道係員ノ注意ヲ喚起スルノ手段ヲ採ルヘシ

車窓外ニ赤布或ハ赤旗類ヲ山シ又ハ手腕ヲ振ルカ如キ動作ハ危害ノ信號ト誤認セララル虞アルヲ以テ濫ニ之ヲ行フヘカラス

軍用列車ニ於テ兵員全數ニ途中下車ヲ許スハ十分間以上停車スル停車場ニ限ルモノトス輸送指揮官ハ軍用列車發着時刻表若ハ鐵道掛員ニ就テ此等ノ停車場ヲ承知シ次ニ下車シ得ヘキ停車場名ヲ豫メ一般ニ告知ス但シ十分間以内停車ノ場合ニ於テモ輸送指揮官ハ必要已ムヲ得サル者ニ限り下車ヲ許スコトヲ得

下車ヲ許スヘキ停車場ニ到着シタルトキハ輸送指揮官ハ鐵道係員ニ就テ直ニ下車セシメ得ヘキヤ發着時刻ノ變更ナキヤ等ヲ確メ先ツ各車監督將校ヲシテ停車時間再ヒ乗車スヘキ時刻及其他ノ要項ヲ告知セシメ然ル後號令

若ハ號音ヲ以テ下車セシム若シ停車場衛兵ナキ場合ニ於テハ要スレハ先ツ衛兵ヲ下車セシムヘシ再ヒ乗車スヘキ時刻ニ至レハ輸送指揮官ハ乗車ノ爲ノ號令若ハ號音ヲ爲ス  
普通列車ニ依ル輸送ニ於テハ一般旅客ノ下車シ得ル停車場ニ於テ下車スルコトヲ得  
停車場外ニ於テ列車不意ニ停車セシトキハ輸送指揮官ハ列車係員ヨリ其理由ヲ聽取シ乗車軍隊ノ秩序ヲ維持スル爲必要ノ處置ヲ爲スヘシ

#### 第四款 給 養

大輸送ニ於ケル途中ノ給養ハ通常定メラレタル給養停車場ニ於テシ當該停車場司令官若ハ特ニ設置セラレタル機關之ヲ擔任ス之カ爲輸送指揮官ハ發車停車場出發前及給養停車場到着後當該停車場司令官等ニ給養人馬數及給養區分(朝、晝、夕食)ヲ告知スヘシ

但シ小ナル輸送ニシテ前項ノ機關ナキトキハ被輸送部隊自ラ給養ヲ實施スル爲通常所要ノ人員ヲ先遣シ之カ準備ヲ爲サシム又情況ニ依リ列車内ニ於テ炊事セシムルコトアリ

輸送間兵員ノ給養ハ特ニ施設セル食堂ニ於テスルカ又ハ出發前若ハ途中停車場ニ於テ辨當ヲ支給シ車内ニ於テ食事セシム而シテ食事ニ要スル湯茶等ハ適當ノ停車場ニ於テ之ヲ準備スルモノトス

馬糧ハ通常出發ノ際若干ヲ携行セシメ其他ハ途中ノ停車場ニ於テ之ヲ支給ス馬匹ノ水與及飼付ハ搭載ノ儘車内



ニ於テ水囊及麥囊ヲ以テスルモノトス而シテ輸送指揮官ハ輸送間飼料ノ配合ニ注意シ且水及干草ノ飼與ヲ勵行シ以テ馬匹ノ保健ニ注意スルコト極メテ必要ナリ暑熱烈シキ季節ニ於テ殊ニ然リトス

### 第五款 破壊、修理及保護

大ナル鐵道破壊ハ大本營、軍司令官若ハ獨立シテ作戰スル師團長ノ命令ニ依リ之ヲ行フモノトス而シテ之カ爲通常鐵道隊若ハ工兵隊ヲ使用ス又時トシテ騎兵隊若ハ飛行隊ヲシテ此任務ニ服セシムルコトアリ

數時間若ハ一、二日間ノ運行ヲ遮斷スルニ過キサ小ナル鐵道破壊ハ前項ニ掲クル者ヨリモ下級ノ指揮官之ヲ決行スルコトヲ得但シ之ヲ實施シタル地點、時日、方法及程度ハ直ニ之ヲ直屬指揮官ニ報告スヘシ

此ノ如キ破壊ハ我作戰地域内ニ於テハ前進ニハ之ヲ避ケ駐軍ニハ要スレハ之ヲ行ヒ退軍ノ場合及敵ノ作戰地域内ニ於テハ常ニ之ヲ實施スヘシ而シテ敵ノ作戰地域内ニ於ケル鐵道ノ破壊ニハ主トシテ騎兵隊及飛行隊ヲ用ヒ情況之ヲ許セハ工兵隊又ハ鐵道隊ヲ又要スレハ其他ノ兵種ヲモ用フルコトアリ

凡テ鐵道ノ破壊ハ數箇所ニ於テ實施セサレハ價值少ナキコト多シ而シテ之カ破壊ニ際シテハ單ニ術工物ノミナ

ラス線路、停車場、輪轉材料及通信設備ヲモ併セ破壊スルヲ可トス

鐵道ノ破壊ハ通常爆破、擲彈、燒夷、毀壞等ニ依リ一時ノ目的ノ爲ニハ時トシテ機關車若ハ列車ヲ衝突セシムル等ノ方法ニ依リ線路ヲ阻塞スルヲ利トスルコトアリ

占領鐵道ニ於テハ往々ニシテ線路ノ大部ヲ破壊セラレアルコトアリ又我軍力之ヲ利用スルニ方リ爆發スル如キ裝置ヲ施サレアルコトアリ而カモ鐵道ノ新設ハ長時日ヲ要シ神速ナル作戰上ノ要求ニ應ジ難シ故ニ鐵道ヲ迅速ニ修理スル爲必要ナル諸般ノ準備ヲ整ヘアルコト極メテ必要ニシテ之カ爲作業列車及工場列車等ヲ準備スルトキハ其價值大ナリ又鐵道破壊ノ情況ヲ速ニ偵知スルハ之カ修理及利用ヲ迅速適切ナラシムル爲特ニ必要ナリトス

鐵道ハ線路及通信機關完全ニシテ始テ能ク其能力ヲ發揮シ得ヘク而モ故障ノ復舊ニハ長日月ヲ要スルヲ常トス故ニ之カ保護ニハ常ニ深甚ノ注意ヲ拂フコト緊要ナリ

運轉中ニ在ラサル鐵道ノ保護及交通路其他ノ爲之カ利用ニ關シテハ高級指揮官適時之ヲ指示スルヲ要ス鐵道ノ近傍ニ在ル軍隊ハ任務ノ遂行ニ妨ナキ限リ我軍ノ利用中ニ在ル鐵道ハ勿論將來利用スヘキ鐵道ヲモ保護スヘキモノトス



### 第三章 船 舶

一八八

#### 第一節 利 用

海岸ニ沿フ地帯ニ於テ作戰スル場合或ハ海岸ニ近キ陸上作戰ニ於テハ屢々船舶ヲ以テ兵力ヲ他ニ轉用シ以テ戰況ヲ有利ニ導キ或ハ戰場ヲ新方面ニ移スヲ適當トスルコトアリ  
大ナル水路ニ依ル作戰ニ在リテモ亦然リ

戰場ニ在ル水路ハ通常軍隊、軍需品ノ輸送特ニ陸上移動ニ便ナラサル戰闘資材ノ輸送ニ大ナル效果アルヲ以テ勉メテ之ヲ利用スルコトヲ圖ラサルヘカラス

船舶輸送ハ天候、季節ノ感作、敵ノ各種ノ妨害等幾多ノ障害ヲ受クルコトアルヲ考慮セサルヘカラス而シテ此等障害ハ多クハ不時ニ發生シ輸送計畫ニ大ナル齟齬ヲ來スヲ常トスルヲ以テ之カ計畫ニハ相當ノ豫備ヲ存シ遺算ナキヲ期スルト共ニ實施ニ方リテハ各機關並部隊ハ萬難ヲ排除シ旺盛ナル犧牲心ヲ以テ其能力ヲ最大ニ發揚シ以テ輸送ノ安全ナル期間ニ於テ速ニ所期ノ目的ヲ達スル如ク努メサルヘカラス

船舶輸送ニ於ケル通信連絡ハ極メテ緊要ナリ敵前上陸ニ於テ特ニ然リトス而シテ海上ニ於ケル通信連絡ハ陸上ニ比シ遙ニ困難ナルヲ以テ豫メ其方法ヲ周密ニ計畫シ實施ニ遺漏ナキヲ要ス又無線電信ニ依ル通信ハ勉メテ之ヲ制限シ以テ敵ニ我行動ヲ秘匿スルノ注意ヲ要ス

#### 第二節 輸 送

##### 第一款 機關及配船

船舶輸送ノ爲海運基地、海運主地、海運補助地ヲ設ク

**海運基地** ハ軍事上樞要ナル内地港灣ニ設ク通常船舶輸送ノ策源地トナス

**海運主地** ハ戰地主要ノ港灣ニ設ク通常船舶輸送ノ終點トス

**海運補助地** ハ海軍基地又ハ同主地以外ニ於テ必要ナル港灣ニ設ク

海運基地ニハ通常船舶輸送司令部ヲ、同主地ニハ碇泊場司令部ヲ、同補助地ニハ碇泊場司令部或ハ船舶輸送司令部支部又ハ碇泊場司令部支部ヲ設置シ船舶輸送業務ヲ掌ル

**衛兵** ハ海運地ノ整理、軍機ノ保護及要地ノ警戒等必要ニ應シ碇泊場司令官等ノ配置スルモノニシテ其他ノ細部ノ事項ハ鐵道輸送ノ場合ニ於ケル衛兵ニ同シ

一八九



**碇泊場司令部** 主要ナル乗船、上陸地ニハ碇泊場司令部ヲ置キ輸送ノ實施ニ任セシム

**監督將校** 所要ニ應シ運送船ニ一名ノ監督將校ヲ乗込マシム其任務ハ關係艦船トノ連絡ニ任シ且船長ノ任務實行及船員其他乗組員ノ勤務ヲ監督セシムルモノトス

輸送指揮官ハ運送船ノ保安時ニ失火、坐礁等ノ場合監督將校(該將校アラサルトキハ船長以下同シ)ヨリ請求アルトキハ之ニ應シ所要ノ援助ヲ與フル義務アルモノトス

**配船** 各運送船ニ搭載スヘキ部隊ノ配當ハ輸送ノ目的、運送船ノ搭載力、季節、航路及上陸地ノ情况等ニ依リ定ムルモノトス

一運送船ニ搭載スル部隊ハ成ルヘク建制ヲ分割スルコトナク以テ航海中軍紀ノ維持並給養ニ便ニシ且揚陸後直ニ從事スヘキ動作ニ障害ナカラシムルモノトス然レトモ情況ニ依リ某部隊ノ揚陸ヲ迅速ナラシムル必要アルトキハ之ヲ數船ニ分割搭載スルコトアリ

### 第二款 乗船上陸

軍隊ハ碇泊場司令官ト搭載實施ニ關スル協議決定シタル方法ニ從ヒ自ラ乗船、上陸ヲ行フモノトス

大部隊ノ輸送ニ在リテハ高等司令部ハ遅クモ其乗船開始二日前迄ニ所要ノ職員ヲ乗船地碇泊場司令部ニ差遣シ乗船ニ關スル諸件ノ爲必要ノ協議ヲ爲サシメ之ニ基キ逐次到着スル各部隊及輸送指揮官ニ所要ノ命令ヲ與フ又要スレハ豫メ上陸地ニ若干ノ職員ヲ派遣シテ該地碇泊場司令官ト上陸ニ關スル協議ヲ爲サシムヘシ

前項職員ノ乗船地碇泊場司令官ト協議スヘキ件通常左ノ如シ

集會場、材料(荷物ヲ含ム以下同シ)集積場、乗船場及通路

各輸送指揮官ノ乗船場及船内ヲ視察スル時期

乗船開始時刻

給養ニ關スル事項

要スレハ衛兵及使役兵ノ差遣

小部隊ノ輸送ニ在リテモ亦概ネ前項ニ準スルモノトス

**輸送指揮官**(時宜ニヨリ代理者ヲ以テスルコトヲ得)ハ前項ノ命令ニ基キ所要ノ職員(成シ得レハ各搭載掛員)其他必要ノ使役兵ヲ隨ヘ乗船地碇泊場司令部ニ到リ各乗船部隊ノ人馬材料ノ精確ナル數量ヲ通報シ乗船實施ニ關スル碇泊場司令官ノ規定ヲ承知シ乗船場及運送船ヲ視察シ碇泊場司令部



ノ職員及船員ト所要ノ協議ヲ遂ケ乗船ニ關スル諸準備ヲ整ヘ且命令ヲ下スモノトス  
乗船實施ニ關シ碇泊場司令官ノ規定スル事項通常左ノ如シ

棧橋(埠頭)ノ使用區分

乗船ノ爲使用スル材料ノ種類、配當數及使用區分

舢舨ノ搭載力及運航ニ關スル事項

危險豫防及救助ニ關スル事項

棧橋(埠頭)、舢舨、運送船、船舶輸送部職員等ノ標識

軍隊勤務員ノ標準、其差出時刻、場所等

輸送指揮官ハ船内視察ノ結果ニ基キ運送船内ノ居室、馬欄、材料置場等ヲ適當ニ乗船部隊ニ配當シ且所定ノ區  
劃ニ從ヒ將校ノ官氏名、部隊號、人馬數等ヲ揭示シ其乗船ヲシテ勉メテ迅速且齊整ナラシムル如ク諸準備ヲ整  
フヘシ

乗船ニ關シ乗船場、運送船ノ諸設備並乗船ノ爲使用スル諸材料(軍隊ニ於テ準備シ得ヘキ輕易ナルモノヲ除ク)  
ノ準備ハ碇泊場司令部ノ擔任トス而シテ舢舨ノ運航ハ通常碇泊場司令官之ヲ規定スヘキヲ以テ輸送指揮官ハ之  
ニ基キ舢舨ノ全能力ヲ間斷ナク利用シ得ル如ク乗船部隊ノ動作ヲ規定スルコト必要ナリ之カ爲輸送指揮官ト碇

泊場司令官トノ連繫ハ最モ緊密ナルヲ要ス

輸送指揮官ノ下ス乗船命令ニ於テ示スヘキ事項概ネ左ノ如シ

運送船名

乗船部隊

搭載開始時刻

集會場(馬繫場、材料置場ヲ含ム)及使用埠頭又ハ棧橋

船内搭載區分

勤務員(各掛將校以下、船内衛兵及要スレハ陸上衛兵)ノ割出、差出時刻並地點

搭載順序(舢舨ニ依ル場合ニ在リテハ之カ配當、搭載區分及順序)

各部隊集會時刻及集合法

搭載間陸上海上間ノ通信法

船内給養ニ關スル事項

輸送指揮官ノ位置及其乗船時期

輸送指揮官ハ概ネ左ノ諸項ニ準シ搭載ヲ計畫ス



- 一 船内搭載区分ハ揚陸順序、船舶ノ構造並設備等ヲ顧慮シ揚陸ニ便ナル如ク定ム  
 人馬ハ成ルヘク同一區劃内ニ同一部隊ヲ配當シ航海中軍紀ノ維持及給養ニ便ナラシム然レトモ情況ニ依  
 リ特ニ某部隊ノ揚陸ヲ迅速ナラシムル必要アルトキハ之ヲ數區劃ニ分チ搭載スルコトアリ一區劃内ニ數  
 部隊ヲ混載スル場合ニハ特ニ彼此混淆セサル如ク注意ス  
 火藥、油類其他危險品ハ發火又ハ引火ノ豫防ヲ周到ニシ其積付、搭載場所、取扱等ニ細心ノ注意ヲ拂ヒ  
 容器並梱包ヲシテ常ニ完全ナル狀態ニ在ラシムル如クス
- 二 搭載ハ船内搭載区分ヲ基礎トシ各区分毎ニ概ネ材料、馬匹、人員ノ順序ニ又馬匹及材料ハ揚陸ト反對ノ  
 順序ニ行フ  
 馬匹ハ通常第一甲板ヨリ逐次下層ニ搭載ス而シテ馬欄ニ餘裕アルトキハ成ルヘク各馬欄列毎ニ其一端又  
 ハ兩端ニ豫備馬欄ヲ存シ以テ馬欄ヲ清掃スルトキ馬匹ヲ之ニ移シ得ル如クス  
 人員ハ最初ニ上陸セシメムトスル部隊ヲ上層甲板ニシテ入口ニ近キ位置ニ配當ス
- 三 搭載時間ヲ短縮スル爲人員ニ在リテハ全舷梯グラツヲ、馬匹、材料ニ在リテハ全揚貨機クイックヲ關斷ナク使用シ得ル  
 如ク諸動作ヲ規定ス  
 情況ニ依リ材料ノ一部ハ舷門ヨリ之ヲ搭載スルヲ便トスルコトアリ

- 四 搭載順序及搭載ニ要スル時間ヲ顧慮シ搭載場ニ於ケル人馬材料ノ集合法、集合時刻ヲ規定ス  
 軍隊ヲ集合セシムルニハ搭載準備ニ要スル時間(馬裝ノ解脫、材料ノ梱包等ノ時間ニシテ徒歩兵ハ約四  
 十五分、騎兵、砲兵ハ約一時間、輜重ハ約一時間半乃至二時間)ヲ計リ部隊ヲ同時若ハ逐次ニ乗船場ニ  
 到ラシム
- 五 搭載ノ爲舢舨ヲ用フルトキハ其搭載能力及各部隊ノ搭載順序ニ應シ豫メ人馬材料ヲ区分シ各舢舨ニハ成  
 ルヘク將校(下士)ヲ配屬シ以テ動作ノ靜肅敏速ヲ圖ル
- 六 人員、馬匹、材料毎ニ各其搭載掛及要スレハ人馬救護掛ヲ設ク  
 各掛員ハ舢舨ノ種類及數、搭載場並運送船内ノ情況ニヨリ之ヲ定メ通常陸上、舢舨(人員掛ヲ除ク)及運  
 送船内ニ分レテ勤務ス各掛員ハ適宜ノ標識ヲ附ス  
 搭載完了セハ輸送指揮官ハ碇泊場司令官、監督將校及船長ニ通報シ船内ヲ巡視シテ人馬材料搭載ノ景況ヲ檢査  
 ス下士兵卒ハ此檢査終ルマテ其座席ニ在ルヲ要ス  
 船舶上陸地ニ到着スル前輸送指揮官ハ要スレハ各乗船部隊ニ上陸準備ヲ爲サシムヘシ此際下士卒ハ濫ニ其位置  
 ヲ離レサルヲ要ス

船舶既ニ上陸地ニ到着セハ同時ニ輸送セラレタル船團内ノ最上級指揮官ハ成ルヘク速ニ上陸ニ關シテ該地碇泊



場司令官ト又要スレハ上陸後ノ宿營、給養、鐵道輸送等ニ關シテ各關係機關ト連絡シ所要ノ事項ヲ協議シ必要ノ命令ヲ下スモノトス

輸送指揮官ハ前項ノ命令ニ基キ概ネ乘船ノ場合ニ準シ該地碇泊場司令官ト協議シ上陸ニ關スル命令ヲ下スモノトス此際要スレハ所要ノ人員ヲ碇泊場司令部ニ差遣シ揚陸ニ關シ百般ノ事項ヲ協議セシムルコトアリ

揚陸ノ順序ハ通常搭載ト反對ニ行フモノニシテ又人員、馬匹、材料ニ關スル注意並衛兵、使役兵ノ配置等ハ概ネ搭載ノトキト同法ニ從フモノトス而シテ揚陸ノ開始ハ通常陸上ノ諸準備整頓シタル後ニ於テハ一旦之ヲ始ムレハ成ルヘク短少時間内ニ完了スルコトヲ努ムヘシ

輸送指揮官ハ揚陸後ノ整理ヲ圖ルコト特ニ必要ナリ即既ニ揚陸セシ人馬材料ハ速ニ埠頭(棧橋)附近ヨリ退去セシメ以テ爾後ノ揚陸動作ヲ妨害セシメサルヲ要ス

敵前ニ於ケル上陸ノ難易ハ其時ノ情況就中敵ノ兵力、地形、我海軍ノ協同動作ニ關スルコト大ナリ故ニ軍隊指揮官ハ碇泊場司令官及海軍指揮官ト協議シ作戰上ノ要求並當時ノ情況ヲ稽へ上陸ヲ計畫セサルヘカラス

敵前ニ於ケル軍隊ノ上陸ハ通常歩兵ヲ第一トシ騎兵、砲兵之ニ次キ最後ニ行李、輜重ノ順序ニ行フモノトス時宜ニ依リ上陸點ヲ準備スル爲工兵ヲ第一ニ上陸セシムルコトアリ

### 第三款 航海中ノ勤務及心得

輸送指揮官ハ乘船後成ルヘク速ニ船内ニ於ケル軍隊ノ諸勤務、日課時限、給養、運動方法、衛生並運送船ノ失火、遭難時ノ處置等ニ關シ監督將校及船長ト協議シテ所要ノ命令ヲ下ス

各船舶ニハ日直將校一人、同下士若干人(各兵種ノ中隊又ハ中隊以下ノ集團毎ニ少クモ一人)ヲ置キ且衛兵及所要ノ巡察ヲ備フルモノトス

日直將校ハ輸送指揮官ニ届告シ其指示ヲ受ケ日直下士、衛兵及巡察ヲ指揮シ通常軍旗、危險品、貴重品、給水栓、出入口等ノ位置ニ哨兵ヲ配置シ時々船内ヲ巡察シ軍紀、風紀ノ維持、諸規則實施ノ如何ヲ監視スルモノトス

日直下士ハ日直將校ノ命ヲ受ケ之ヲ所屬部隊長ニ報告シ之ニ關スル部隊長ノ命令ノ實施セラルルヤ否ヤヲ監視ス

巡察ハ衛兵ノ勤務ヲ監視シ且材料置場、既、食事分配場等ヲ監視スルモノトス

衛兵ハ船内ノ軍紀風紀ヲ維持シ火災ヲ豫防シ衛生ヲ監督スルモノニシテ諸兵種混乘シアルトキハ主トシテ歩兵ヲ以テ之ニ充テ其人員ハ哨所ノ數ニ應シテ定ム

諸勤務員ノ服裝及服務方法ハ輸送指揮官之ヲ定ムルモノトス

船中ニテ一般ニ服膺スヘキ件概ネ左ノ如シ

火災豫防ニ注意スルコト



喫煙、洗面等ハ必ス所定ノ場所ニ於テシ又船内ヲ汚損セシメサルコト

清水ノ使用ヲ節約スルコト

船橋、船首樓、船尾樓、操舵室、機關室、庖厨其他危險ナル場所等ニ立入り又通路、階梯等ニ立止マラサルコト

妄ニ燈火ヲ點シ又ハ所定ノ位置ニ在ルモノヲ他ニ持チ行カサルコト

船員ノ動作ヲ妨害セサルコト

情況ニ依リ無燈航行ヲ行フ場合ニハ自己ノ船舶ヨリ燈火ノ洩ルルヲ防止スルト共ニ僚船中燈火ノ洩ルルモノナキヤニ注意シ若シ之ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ告知スルコト

輸送指揮官ハ監督將校ト協議シテ時機ヲ得ル毎ニ乗船部隊其他ノ乗組員ニ對シ上陸動作、非常配置、救命具ノ使用法等ヲ演練セシムルヲ要ス

航海長時日ニ互ル場合ニ在リテハ下士兵卒ニ學術科ノ練習及步行運動ヲ爲サシムルヲ要ス之カ爲甲板上等ヲ利用スル場合ニハ其場所ノ廣狹ト人員ノ多少トニ從ヒ之ヲ數班ニ區分シ時刻ヲ定メ順次ニ實施スヘシ此際空虛ト爲リシ船室ヲ清掃スルヲ可トス

狹縮ナル搭載ヲ爲シアル場合ハ情況之ヲ許セハ船室ヨリ人員ノ一半ヲ甲板上ニ出シテ室内ノ人員ヲ適宜減少シ以テ交互ニ横臥休息セシムルヲ可トス

航海中船舶ノ港灣ニ寄港スルコトアルモ輸送指揮官ハ特ニ必要アルトキノ外一人タリトモ上陸セシムヘカラス但シ馬匹ニ在リテハ航海長時日ニ互ル場合保健上ノ必要ヨリ情況之ヲ許セハ寄港地ニ於テ一時揚陸シ適度ノ運動ヲ爲サシムルヲ可トスルコトアリ

**非常ノ處置** 失火、坐礁、衝突等ノ場合ニ於テハ將校以下極メテ靜肅ニ指定ノ位置ニ在リテ船員ノ動作ヲ妨害セサルコト必要トス唯輸送指揮官ヨリ特ニ指定セラレタル者ノミ船員ヲ補助スルモノトス

運送船敵ノ艦艇ニ遭遇シ又ハ攻撃ヲ受ケタル場合護衛艦艇ヨリ指定ヲ受クル能ハサルトキハ監督將校ハ狀況之ヲ許セハ船舶ノ進退ニ關シ輸送指揮官ト協議スヘキモノトス但乗船部隊最後ノ處決ハ常ニ乗船部隊ノ上級先任ノ將校之ヲ斷スルモノトス

#### 第四款 給 養

船内ニ於ケル軍隊ノ給養ハ人馬共ニ船主ノ供給ニ依ルカ現品官給ニ依ルカ若ハ之ヲ併用ス而シテ其何レニ依ルヘキカハ輸送ヲ命スル長官之ヲ定ムルモノトス

船内ニ於ケル給養品ノ調理炊事ハ船員之ヲ行フヲ例トス

船主ノ供給ニ依リ給養ヲ行フ場合ニ在リテハ輸送指揮官ハ船長ヨリ提出セル献立表ニ照シ毎食調理前後ニ於テ



其品質及調理法ヲ檢シ衛生上有害ナルカ獻立表ニ比シ粗惡ナルカ又ハ定量ニ充タサルトキハ船長ニ要求シ之カ改善ヲ圖ルヘシ然レトモ情況ニ應シ適宜定量(獻立)ヲ變更セシムルノ著意アルヲ要ス

現品官給ニ依ル場合ニ在リテハ其現品ハ碇泊場司令部ヨリ船長ニ交付保管セシメ輸送指揮官ハ所要ニ應シ船長ヨリ受領シ上陸前使用量ニ對スル證票ヲ船長ニ交付スルモノトス

船内ニ於ケル給養ハ通常乗船當日夕食ヨリ上陸當日晝食マテトシ時宜ニ依リ數食分ノ辨當ヲ携行上陸セシムルコトアリ

上陸後ノ情況之ヲ要スレハ乗船部隊ヲシテ前條ノ外尙一部ノ豫備糧秣ヲ携行上陸セシムルコトアリ此ノ如キ場合ニハ通常之ニ關シ豫メ命令セラレヘキヲ以テ輸送指揮官ハ前々項ニ示セル手續ニ依リ船長ヨリ現品ヲ受領シ各部隊ニ分配スルモノトス

## 第十二篇 陣中日誌、留守日誌

陣中日誌及留守日誌ヲ作ルノ目的ハ左ノ二項ニ在リ

- 甲 各部隊若ハ各人ノ經歷及遭遇シタル實況並所見ヲ記載シ一ニハ戰史ノ用ニ資シ一ニハ他日各人ノ勤務及功績ヲ銓衡スルノ參考ニ供ス
- 乙 編制、教育、補充、給養、衛生、武器、彈藥、器具、材料、被服、裝具等凡テ軍事ニ關スル事物ノ經驗ヲ錄シ將來改良ノ資料ト爲ス



昭和二年四月廿五日印刷  
昭和二年五月一日發行

最新戰術學教程〔卷下〕

定價金九拾五錢

不許  
複製

東京市麴町區三番町六十九番地

著作兼發行者 齋藤市平

東京府千駄谷町原宿三二一番地

發行兼印刷者 和田信興

東京市麴町區三番町六十九番地

兵書刊行會

振替東京七二五六一番

京都市外師團前

武揚社書店

振替大阪二七九二番

發售所兼

販賣所



◇新刊兵書◇

最新兵器學教程

全一冊  
四六判紙數約二百頁  
定價金九拾五錢  
送料金四錢

改訂軍制學教程

全一冊  
四六判紙數約二百頁  
定價金六拾錢  
送料金四錢

最新地形學教程

全一冊  
四六判紙數約二百頁  
定價金九拾五錢  
送料金四錢

最新戰術作業必携

全一冊  
四六判紙數約二百頁  
定價金六拾錢  
送料金四錢

最新軍事學問答

全一冊  
四六判紙數約二百頁  
定價金壹圓八拾錢  
送料金八錢



